

情報公開文書

「上部消化管疾患における診断・治療法に関する後ろ向き観察研究」

1. 研究の対象となる方

2000 年 4 月から 2028 年 3 月までに千葉県がんセンターで治療したすべての上部消化管悪性疾患患者（食道癌、胃癌、食道胃接合部癌、その他上部消化管悪性腫瘍性疾患（GIST,神経内分泌腫瘍など）、消化器良性疾患（食道アカラシア、逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍、病的肥満症、クローン病など）の患者さん

2. 研究目的・研究の方法

日常診療で得られた情報（治療成績、採血結果、画像検査などの電子カルテ情報）を誰のものかわからないように収集し、統計学的方法もしくは手術動画そのものとそれを表現した内容を用いて患者さんの背景（年齢、性別）や疾患そのものに関する情報、各診断・治療法の組み合わせ、治療経過の差異の可能性を探索する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、診療録（電子カルテ）から診療情報を収集します。試料は用いません。収集する診療情報は、病歴、治療の方法・内容・効果・副作用、転帰等です。収集した情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。

研究責任者は加野将之（食道・胃腸外科）

研究分担者：鍋谷圭宏、水藤広、桑山直樹、黒崎剛史、千葉聡

5. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者管理の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5 年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さん特定できる個人情報が用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、当センターから各診療科に支給された食道・胃腸外科研究費を用いて行います。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会が承認し、病院長が研究実施を許可しています。

8. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。その場合でも、診療上でああなたが不利益を被ることは一切ありません。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除いたします。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究責任者：千葉県がんセンター、食道・胃腸外科、加野将之

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL：043-264-5431（代表番号）

版管理番号例：ver1.0（2023年4月1日）